

教材教具名	ドップラー効果実験用補聴システム
対象	中学部
領域・教科	理科
ねらい	<p>聾学校の理科は中学校や高等学校の理科に準じて行っている。しかし、音に関する学習については今まで代替教材を用いてきた。生徒の聞こえの状態は、補聴器の改良や人工内耳の普及などにより変化してきている。そこで、この機器を利用してドップラー効果を体験的に理解できるようにすることを目指した。</p>
使用方法	<p>ドップラー効果実験用補聴システムは、図のように FM 補聴器にアンプと指向性マイクをつなげた。指向性マイクを使うことで、離れた音をとらえることができる。また、マイクと送信機の間に入アンプを入れることで、音量を大きくすることができる。これらの工夫によって、ドップラー効果の実験を行うことが可能になった。</p> 
材料（素材）	FM 補聴システム、アンプ、指向性マイク
写真	   